

令和5年度決算の概要

地方公会計制度に基づく財務諸表などを活用した一般会計決算を4日間集中審査

一般会計決算は、17名で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査しました。
また、特別会計決算は市民厚生委員会、企業会計方式の下水道事業会計決算は建設環境委員会が審査し、それぞれ原案のとおり認定されました。

一般会計決算の審査から

令和5年度決算の特徴点について

主な内容を伺う。

問 一般会計の歳入は321億7900万円、令和4年度と比べ物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の皆増などにより20億4700万円、6.8%の増。歳出は310億4000万円、物価高騰対策である住民税非課税世帯物価高騰支援給付金(追加支給分)給付事業の皆増、中央図書館改良事業の増などにより前年度比25億8900万円、9.1%の増となった。

人権啓発活動について

問 令和5年度の取り組み内容を伺う。

答 小学生向けの法務省の事業として、協力して花を育てて生命の尊厳や感謝することの大切さを学ぶ「人権の花運動」を福生第一小学校で実施した。また、子どもたちの心の成長と大人が子どもたち

をより深く理解することを目的として開催した「子どもからの人権メッセージ発表会」に福生第三小学校の5年生が参加し、奥多摩町で開催された発表会では、代表児童がメッセージを発表した。

災害対策事業について

問 コロナ禍の経験を生かしたという避難所運営の取り組みを伺う。

答 各避難所では、開設時にアルコール消毒液や非接触型体温計など感染症対策物品を配備することとしており、発熱者が避難した際の受入れ方法や発熱者専用スペースを設けることなども運営マニュアルに明記している。総合防災訓練等で実効性を確認し、コロナ禍の経験を風化させないよう有事の際の開設・運営に生かしたい。

窓口業務の委託について

問 委託の効果伺う。
答 窓口、印鑑登録など

4事業の委託で会計年度任用職員人件費が減少した。物件費は、委託料が人件費を上回る増加だが、教育や労務管理等の経費も大幅に削減し、欠員補充ができない状況の回避や繁忙期の人員増など、弾力的な運用により安定した窓口業務の運営ができるようになった。また、委託により職員の負担が緩和され、窓口の効率的運用やDX推進等の検討に目を向けられるようになった。

せせらぎ遊歩道公園整備事業について

問 整備工事の予算執行率が低い理由を伺う。

答 整備工事の予算執行率が低い理由は、その理由は、また、法面工事の際、植樹等は検討しなかったのか。

答 減額要因は、入札により落札比率が79.76%となったことによる。植樹については、工事箇所の西側にはたる公園があることから、福生ホテル研究会と協議を重ね、虫の生育状況を考慮し、樹木は極力切らない方向で工事を行っており、緑地としての樹木は確保されていることから、植樹の検討は行っていない。

福生・羽村・瑞穂地域の魅力を結ぶプロジェクト協議会について

問 事業の内容を伺う。
答 2市1町の認知度向上と新たな交流人口の

高齢者デジタルデバイス対策事業について

問 事業の成果と評価を伺う。

答 高齢者の情報格差解消を目的に、スマートフォン未所有の高齢者に約5か月間無料で貸与するもので、令和5年10月からの第1クールには19名が参加。体験後の成果として、スマートフォンを所有された12名のうち11名が電話やブラウザ検索、LINEを初めとする各種アプリ機能などを有効活用しており、また、スマートフォンにより親族との連絡頻度が増加したなどの感想も得ている。

園児送迎バス等安全対策支援について

問 補助金事業の内容を伺う。
答 送迎バス等安全対策支援補助金は、送迎バス等での園児の見落とし防止のための安全装置の設置、熱中症対策や遊具

の修繕等、園児の安全を守る取り組みを支援するために幼稚園や保育所に交付した。この補助金により、全ての該当車両に安全装置が設置されたほか、見守りカメラの設置、ベビーセンサーの購入、職員間の情報共有のための通信機器の購入等に役立てられた。

福生第二号踏切改良事業について

問 令和5年度の工事内容と進捗率を伺う。
答 令和5年度の工事内容は、新たに歩道を設置する際の支障となる鉄

道信号施設や照明灯等の撤去及び新設を行った。令和5年度における工事全体の進捗率は、金額ベースで約30%、また、新たに踏切の前後に歩道を設置するため、踏切の南東側の15.23平方メートルの用地取得も行った。

体育健康教育推進校事業について

問 2年間の取り組み内容と効果を伺う。
答 東京都教育委員会からの委託により福生第一中学校で実施。研究では、保健体育科でのiP adを活用した体の動き

方などの学習や、昼休みに生徒が運動やスポーツを気軽に行う時間をつくる等の取り組みを実施。効果として、毎日運動していると同答した生徒が増加したことや、全体の約95%が健康維持への運動や食事、睡眠等の重要性を理解するなどの成果が見られた。

中央図書館改良事業について

問 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金を1億2700万円取り崩し充当したとのことだが、その内容と効果を伺う。

答 全額を備品購入費に充当。主に開架エリアの書架のほか、机、椅子等を購入した。書架の表面材には、主に多摩産材を採用、机や椅子も文化の森の景観と合うよう木製家具をそろえ、利用者からも快適であるなどの評価を得ている。



▲令和5年度一般会計決算を起立多数で認定

令和5年度 会計別決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	残額(翌年度繰越額)
一般会計	32,179,342,344	31,003,938,607	1,175,403,737
特別会計			
国民健康保険特別会計	6,696,887,604	6,440,030,992	256,856,612
介護保険特別会計	5,177,399,156	4,965,058,649	212,340,507
後期高齢者医療特別会計	1,499,220,808	1,475,034,345	24,186,463
総合計	45,552,849,912	43,884,062,593	1,668,787,319

下水道事業会計

	収入決算額	支出決算額
収益的収支	1,520,407,493	1,327,963,537
資本的収支	317,278,824	805,577,990

